

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第33号



ななえ古写真物語

VOL. 33

稲刈り風景

~ 峠下中学校 ~

昭和38年

峠下地区

七飯町は、農業が盛んな町ですので、毎年、今時期は果樹や農作物の収穫で賑わいます。今年の夏は、異常に暑かったので、その影響がないと良いなと思いつつ、この文章を書くのに、何かいいネタがないかと当館にある古写真のアルバムを何冊も開いていたところ、ちょうど上の写真が目につきました。

写真には、田んぼで稲刈りをする2人が写っており、今これから刈り取られようとする稲穂と、刈り取られた稲が見て取れます。稲刈りは鎌を使っているのでしょうか？いずれにせよ、大変な作業だったと想像されます。

また、遠くには横津の山並みが伺えますので、仁山方面から藤城方面へ向かって写されたものと想像できます。

いつもなら、ここで七飯町の稲作の歴史でも話すところですが、今回はまったく別の話をしようと思います。写真を見ると稲刈りをする2人のすぐ奥に、なにやら建設中の建物があることがわかります。まだ、骨組みしかないので、大きさや屋根の形状から、学校だろうと想像できるかと思えます。色々調べてみると、どうやら、閉校して校舎もなくなってしまった峠下中学校の写真であることがわかりました。

峠下中学校は、昭和22年に亀田郡七飯村立峠下中学校として認可され、はじめは峠下小学校に併設されていました。開校当時は2学級72名だったといえます。昭和28年には、独立が認可され、3教室と附属する廊下を増築しました。しばらくは、その校舎を利用していましたが、昭和37年に開かれた、校舎の増築懇談会では閉校した精進川小中学校の校舎を移築する計画もあったそうですが、集中豪雨の影響などもあり、実際には校舎の移築と増築をすることになったといえます。その内訳は、移転校舎が木造二階建、増築は特別教室二教室、鉄骨シェルゲビオン構造の体育館となりました。

この新校舎には、工費1,025万円のほか、期成会記念事業寄付金120万円の予算と、峠下中学校の生徒やPTA、地域の方々の奉仕作業が延べ1,797人（約半年の間）だったと記録されています。今では考えられないほど地域が一丸となって、中学校建設に尽力したことが伺えます。

平成2年、峠下中学校は七飯中学校と統合し、今は校舎も残っていませんが、この写真にはしっかりと峠下中学校が存在したという事実が刻まれています。

4日

夜の博物館で板状土偶作りに挑戦していただきました。

いくつかの土偶を観察し、それぞれの特徴などを学んだ後、約一時間、思い思いの土偶を作りあげてもらいました。制作中はお互いの土偶を観察して談笑したり、作る難しさを実感して、「上手に作る縄文人はすごいね。」という会話も。

神々しい土偶、かわいらしい土偶、動物の形をした土偶など...様々な土偶が完成しました。



8日

ふぁみりーでいみゅーじあむで、おはぎ作りをしました。時間がかかりそう、難しそう...というイメージがありますが、あらかじめ、あんをご飯をそれぞれ丸めて小分けにしておいたり、簡単に包めるようにあんをラップに広げ、ご飯をのせて包む...という方法で作ったところ、「こんな方法もあるんですね」「これなら簡単ですね」と好評でした。

子ども達は、特に包む作業がお気に入りだったようで、どんどん包んで、どんどん上手になっていったのでした。



もち米をつぶしています



コレ、楽しいかも...



おいしー！！

11・12日

今月は「大沼をきわめる」と題して、大沼でキャンプを行いました。外でたくさん活動して、外にテントを張って...の予定のはずが、なんと開催日数日前から台風接近の影響で大雨の予報！当日朝の大雨で心配していましたが、大沼に到着すると小雨になったり、時折晴れたり(子ども達のパワーのおかげ?)

ということで、一日目は大沼公園内を写した古写真を手がかりに、今の場所を探しあてるレクと、遊覧船に乗って大沼クルーズをしました。テントは杉風館内に張り、炊事は軒下で調理しました。

二日目は朝から土砂降り、予定通りには動けませんでしたが、雨の中元気に虫捕りに行ったり、みんなでカードゲームをしたりと、楽しんでいるようでした。二日間、ご苦労様でした！



写真の場所はどこ？



初！遊覧船



ぎゅうぎゅう...



花火もしたよ

10月の予定

1	金
2	土
3	日
4	月
5	火
6	水
7	木
8	金
9	土
10	日
11	月
12	火
13	水
14	木
15	金
16	土
17	日
18	月
19	火
20	水
21	木
22	金
23	土
24	日
25	月
26	火
27	水
28	木
29	金
30	土
31	日

ふぁみりーでいみゅーじあむ

10月の休館日はありません

昭和のくらし展、開催中です。

9月21日から特別展「昭和のくらし」を開催しています。昭和52年に七飯町が製作した「豊郷 ななえ」も放送しています。(A)



編集後記 ~tawagoto~

突然、秋になったような気がする。ついこの間までのうだる様な湿度はどこに行ったのだろうと思うほど、からっとし、空気が澄んでいるようにさえ感じられる。それと同時に鼻や目がかゆくなってしまい大変なことになっている私・・・

恐らくは、ヨモギか何かの花粉の影響だとは思いますが、夏とは違う自然の猛威に翻弄されボックスティッシュが離せない毎日。まさに、身をもって秋を感じているという状態だ！ (やまだひさし)

Richard ~ピチャリ~

第33号

平成22年9月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp